

7月定例教育委員会会議録

1 日 時	令和5年7月25日（火）午後5時30分から午後7時10分まで
2 会 場	磐田市役所西庁舎3階特別会議室
3 出席者	山本敏治教育長、秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員
4 出席職員	藪田欣也教育部長、鈴木智也教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、石田和代学校給食課長、小沼裕樹学校教育課長、天野敏之放課後活動課長、岡本由紀子中央図書館長、竹内直文文化財課長、清水大輔幼稚園保育園課長、山下和洋自治デザイン課長、金子和由文化振興課長

(傍聴人0人)

(進行委員：大橋弘和委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

改めましてこんばんは。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

本市では、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代の中で、子どもたちが様々な変化に主体的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくなど、しなやかにたくましく生き抜いていく力を育成するために、各小中学校での探究的な学びの充実を図り、授業の質の向上を目指していきたいと考えています。

そこで、本年度から、大学教授や企業経営者、教職員をメンバーとする「探究的な学び研究会」を立ち上げ、5月30日に1回目の研究会を開催しました。ここでは、総合的な学習の時間を切り口に、「なぜ今、探究的な学びが求められているのか」「探究的な学びのイメージを具現化する方策・視点は何か」について、様々な視点から協議をしました。今年度は計4回の研究会を予定するとともに、令和7年度までの3年間で、研究、実証を行い、全小中学校へ、その考え方、方向性について浸透を図っていきたくと考えています。

その一環として、7月20日に、探究学習の第一人者であり、本研究会のメンバーでもある國學院大学の田村学先生を講師に迎え、「主体的・対話的で深い学びと探究」をテーマにご講演をいただきました。100名を超える多くの皆様にご参加いただき、深い学びや探究の授業について、小学校から高等学校までの様々な具体的実践事例や子どもたちの声、データ等を交え、ポイントを押さえてのお話をさせていただきました。大変分かりやすいお話で、参加者からは、探究的な学びにおける課題設定の大切さとその方法について理解が深まった、深い学びとなるようOUTPUTを増やし、知識をつなげネットワーク化を図ることができる授業を目指していきたい、本校の総合的な学習の時間を探究の視点から見直したい等々、たいへん前向きな声を聞くことができました。

もう1点報告をさせていただきます。

去る7月14日に三遠南信教育サミットが飯田市であり、参加をさせていただきました。昨年度は、参加人数を絞っての開催であったため、通常開催は3年振りとのことでした。具体的な内容については、本日の次第のその他のところでご報告させていただきますが、本教育サミットでは、磐田市の事例発表の場もあり、「新時代の新たな学校づくり」をテ

ーマに、今まで磐田市が力を入れて取り組んできた小中一貫教育やコミュニティ・スクール、学府一体校等、人と人とのつながりを大切にした教育について報告をさせていただきました。今田人形浄瑠璃の公演や交流会もあり、他市町村の教育委員の皆様との交流も深めることができました。

教育委員の皆様におかれましては、午前中の竜洋地区地域懇談会、午後からの総合教育会議に引き続いての会議となりますが、どうぞよろしくお願いたします。

3 前回議事録の承認

6月6日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○私からは6月議会について報告します。

6月15日の議会初日に先議議案で上程した議案第45号「向陽学府小中一体校」の合併浄化槽等の機械設備工事の請負契約締結に係る議案は、6月22日に議決されました。

本会議では、高梨議員から「合併浄化槽等の機械設備の仕様は入札する会社が積算できるように詳細を示しているのか」という趣旨の質問がされました。積算については、機械設備の基本的な仕様は別として、基本的に入札業者については、制限付き一般入札で要件を課すことにより、入札する会社の工事実績等から見積もりの積算を含めた能力や不信用な業者を排除する形で行っていること、また、低入札価格調査制度により、調査基準価格や失格基準価格の算定方法は事前に公表してあることを回答しました。

その後の予算決算委員会での審議では、現在、向陽学府一体校の実施設計を策定中であるにも関わらず、今回工事契約の締結をおこなう手順に関して理解がされていないと思われる質問があったため、工事工程の基本的な考え方を説明しました。つまり、向陽学府小中一体校の整備は、向陽中学校の敷地内での工事になるので、既存校舎を利用しながらの新校舎建設になること、そのためには、新校舎の設置予定場所にあるもので、かつ、既存校舎と新校舎でも利用する合併浄化槽等のような基本的な設備については、新校舎等の工事に先行して新たな場所に設置をしてから、既存のものを取り壊し、取り壊した場所に新規の校舎等を建設していくという段取りで進める必要があることを説明しました。

補正予算については、高梨議員から「放課後児童クラブ運営事業」の医療的ケア児への看護師派遣について、代表質疑がされました。委託業務の内容、医療的ケアを要する児童とクラブ数、看護師の確保策などについて質問されました。

人事案件では、人権擁護委員の求順子氏、後藤敏完氏のお二人が再任されました。

なお、一般質問については、配布した資料のとおりです。お時間のある時にご覧いただき、ご意見・ご質問等があれば事務局へご連絡ください。

私からは以上です。

<質疑・意見>

なし

5 議事

- ・議案第47号 磐田市社会教育委員の委嘱について

○磐田市社会教育委員について、磐田市社会教育委員条例の規定に基づき委嘱するものです。社会教育の調査・立案をするもので、任期は2年です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第47号は原案どおり承認された。

・議案第48号 令和5年度磐田の教育について

○3月に『令和5年度の教育目標と教育長・教育委員からお伝えしたいこと』を発行し、その概要に基づいた本年度の教育施策の詳細を『令和5年度磐田の教育』として策定しましたので、議案として提出いたします。

今回の主な変更点ですが、3月に発行したリーフレットで主要な事業の各方針、施策の枠組みや順番を変更しました。よって、「磐田の教育」もリーフレットにあわせる形で、施策の枠組みや順番を変更して掲載しています。

また、令和2年度から掲載していた「新型コロナウイルス感染症への対応一覧」については、新型コロナウイルス感染症の5類以降にともない、今年度は掲載しないこととしました。

また、冊子のスリム化のため、ホームページやQRコードの利用を考え、「教育関係施設等一覧」の文化財の概要についてQRコードを掲載し、掲載内容の縮小をさせていただきました。

今後は、9月議会前に正副議長に説明させていただいた後、市議会議員や関係部署へ配付する予定です。

<質疑・意見>

○方針1の「子どもの「生きる力」の育成」の中に、キャリア教育についての記載がありません。リーフレットには記載があるので、施策1に追加可能か検討してください。

19ページの方針3施策1について、語尾をですます調に修正してください。

38ページの英語を使ったコミュニケーション能力の育成について、小学1・2年生の英語教育についての追記を検討してください。

43ページの「1 教育・保育施設同士の連携」の「(2)研修・連携内容」の「オ 保幼小合同研修会」については、アからエの研修とは趣旨が異なるものになるので、45ページの「2 連携・接続」の中にも含めるようにしてください。

100ページの「3 学力向上に向け「確かな学力」を育成するために」について、「探究」を含められるか検討してください。

102ページの「5 不登校児童生徒への対応」について、新生徒指導提要と突合して、内容を再検討してください。

110ページの「災害による「高齢者避難」「避難指示」の避難情報が発令された場合の対応基準」について、危機管理課と調整をして修正してください。

■「磐田の教育」は何部作成しますか。

□350部作成します。

■どこに配布しますか。

□市議会、小中学校、関係各課、図書館供覧用、交流センター、他市教育委員会などを予定しています。

■146 ページの「(4)国登録有形文化財」の10～12について、登録年月日が空欄なのはなぜですか。

□国からの登録年月日の決定通知が届いていないことによるものです。原稿の締め切り間に合わなければ削除します。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第48号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 自治デザイン課

<質疑・意見>

なし

(2) スポーツのまち推進課

<質疑・意見>

なし

(3) 文化振興課

○磐田市民文化会館KAWA I 製グランドピアノの購入について、磐田市で生産されているKAWA I 製ピアノの中で、Shigeru Kawai シリーズのフラッグシップモデルは、全て市内の竜洋工場で作られています。この市内で生まれる世界的名器を市民に身近に感じてもらうため、磐田市民文化会館「かたりあ」に導入します。導入にあたり、ピアノに個性があるため、7月18日に3台のピアノから1台選定しました。今後は、9月5日の反田恭平が贈るこどものためのコンサートでお披露目になります。

<質疑・意見>

なし

(4) 福祉課

<質疑・意見>

なし

(5) 幼稚園保育園課

○7月11日に園長会を開催し、昨年から市内での大雨被害が続いていることから、各園における防災対策を改めて検討する機会になればと、本市初の自衛隊OB職員である防災戦略監による講話を行いました。公立21園のほか私立園を含む約50人が聴講しました。講話後には、各園の立地条件等に応じた適切な対策が講じられるよう、地域ごとにグループ分けして意見交換を行い、それぞれの地域における防災上の課題も共有しました。

<質疑・意見>

なし

(6) 教育総務課

<質疑・意見>

■第6回向陽学府小中一体校開校準備委員会は、ながふじ学府小中一体校の見学を兼ねたものですか。

□見学を兼ねたものです。1時間ほど施設見学をした後、開校準備委員会を実施しました。

(7) 学校給食課

○まず初めに、大原給食センターの喫食中止についてご報告させていただきます。

7月6日に、大原学校給食センターにおいて、作業台に害虫の一部が落ちていることを、作業後に調理員が発見したと報告を受けました。万が一、給食に害虫が入り込んではいけないと子ども達の安全を考え、その作業台で調理した、冷やし中華の具材である野菜と、フルーツポンチの提供を急遽中止しました。

また、7月14日は米飯の日でしたが、炊飯後に洗米機の排水経路から害虫の一部が発見されました。ご飯に害虫が入り込んでいる可能性を否定できず、ご飯はすでに配送済みでしたが、子どもたちの安全を考え、急遽提供を中止し、2週続けてご迷惑をおかけしてしまいました。

毎回調理後に清掃や洗浄、防虫対策は行ってきたところですが、それでも害虫を侵入させてしまいました。対策としまして、この夏休み期間中に、普段できない細部への清掃、消毒の実施を予定しています。

また、今回は調理後の発見でしたが調理前、作業中の目視確認、衛生管理安全性の意識向上について再度徹底するよう指導します。

なお、先週は主食の提供を中止してしまいましたので、今後万が一そのようなことがあった場合に対応できるよう、その点でも対策を考えていきます。

この度はご迷惑、ご心配をおかけしまして申し訳ございませんでした。

次に、磐田市給食物資納入業者指定申請一覧表について、浜北魚源水産株式会社を追加しました。主にセンターへの納入になります。浜松市への納入実績があること、緊急対応可能であること、市税の滞納がないこと等の条件を満たしており、学校給食運営委員会で承認済みです。

<質疑・意見>

なし

(8) 学校教育課

<質疑・意見>

なし

(9) 放課後活動課

○夏休み増設児童クラブについて、7月24日から8月28日まで増設しますが、増設12クラブのうち今年初めて4クラブを民間運営委託し、順調に進んでいます。2クラブには一部人材派遣委託をしています。令和4年度に比べ、3クラブ増設、定員は133名増となっています。また、児童クラブ全体では、利用希望人数2,193人のうち2,155人が利用決定しており、待機人数は38人で、前年と比較し115人減少しています。このうち、福田と富岡の児童クラブの待機者には民間運営委託の増設児童クラブの案内をしており、そちらを利用していただいた場合には、待機人数は20人に減少します。

学校部活動運営協議会委員の委嘱・任命について、今年度の委員は16名です。設置要領上は記載がありませんが、進行上、中西先生に委員長をお願いし、協議会で決定します。

会議は今年度3回を予定しており、第1回、通算5回目を8月1日に開催します。

部活動の地域連携・地域移行（グランドデザイン）について、目指していく全体像とスケジュールの基本案をグランドデザインとして取りまとめました。定例校長会で資料配布・説明済みで、各中学校の教員向け説明もパワーポイントの動画を用いて実施します。また、今後部活動運営協議会でも説明等を行い、8月7日の市長定例会見で公表します。公表により多くの様々な意見をいただくとは思いますが、放課後活動課で受け止め、オープンな形で議論、調整を進めます。このグランドデザインはまだ全体的なもので、指導者や場所の確保、財政面など、多くの個々の課題に対し対応案を検討しながら、事業推進計画としてのロードマップを年内目途に作成していきたいと考えています。

グランドデザインの内容については、すべての市立中学生の放課後活動を充実させるため、今後どのような環境づくりをしていけばいいのかという視点で、基本概要として作成したものです。既存の学校部活動は地域連携型の取組を進め再編、地域で活動する団体や個人の参画も得て、これまで学校になかった種目なども加え、活動の選択の幅を広げ、今の子どもたちのニーズに合った多種目多志向のスポーツ・文化活動ができる新たな地域クラブ化を進めていきたいと考えています。

スケジュールとしては、令和5年秋から令和7年までの3年間は地域連携強化期間として取り組み、令和8年から休日の学校部活動を地域移行し、休日の学校部活は行わないこととなります。平日の学校部活動は当面継続し、平日も含めた部活動の地域移行は、令和13年度の完了を目指す目標とし、今後の取組状況に応じ修正しながら検討を進めていきます。

新たな地域クラブ活動の仮称SPO☆CUL（スポカル）は、令和6年度から休日活動を開始する予定とし、令和7年以降は平日も加えた活動を段階的に展開していく予定です。仮称SPO☆CULの運営は当面放課後活動課で行いますが、最終的には委託を予定しています。具体的なロードマップは既に作成を開始していますが、8月に公表されることで具体的な話ができればと思っています。随時定例教育委員会でも報告し、合意形成していきたいと考えています。

<質疑・意見>

■グランドデザインでは、SPO☆CULと地域団体は同じ緑色で示されていますが、どのような関係ですか。

□徐々に青色に切り替わっていくイメージです。緑色のクラブがすべて青色になることや一部だけ青色になることなど、いくつかのパターンを予測しています。

■青色の部分は、磐田市が考えた理念ということですか。

□ある程度、市側が考えた枠組みの中で進んでいくものと考えています。

(10) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(11) 文化財課

○家康の遺香展には3,700名余りの方にご来場いただきました。また、今月からは文化財課企画展「中世の見付～遠江の中心ミッケ！～」が始まります。ぜひご来場ください。

磐田市遠江国分寺跡整備委員会及び整備専門委員会委員の委嘱について、磐田市遠江国

分寺跡整備委員会では3名が新任となります。このうち、専門委員については前任の方が多忙になったことによる交代です。

<質疑・意見>

■教員三年次研修受け入れではどのようなことをするのですか。

□旧見付学校と旧赤松家で受け入れをしています。文化財課長による講義、企画展の案内や、希望があれば土器の洗浄の体験をしてもらいます。

■インターンシップはどのくらい受け入れるのですか。

□今年は4～5名を受け入れます。

■埋蔵文化財センターの全土日開所は始まっていますか。

□はい。

■土日の埋蔵文化財センターにはどのくらい来所しますか。

□先日は6～7名来所されました。平日は平均5～6名の来所があります。

■埋蔵文化財センターでは説明をしてもらえますか。

□ご希望があれば説明をします。押し付けにならないよう配慮しています。

7 協議事項

8 その他

・報告事項「第27回三遠南信教育サミット参加報告」

○7月14日に三遠南信教育サミットに参加させていただきました。先ほど教育長からもお話があったように、今田人形浄瑠璃の公演、豊橋市、磐田市、NPO法人グリーンウッド自然体験教育センターの事例発表がありました。

豊橋市の事例発表では、放課後子ども教室の「のびるん d e スクール」の紹介があり、文部科学省の補助金を受け、52校すべての小学校で生涯学習の一環として72教室が開かれ、4,000人の児童が参加しているそうです。この事業には地元の大人600人が関わっているため、地域の大人の輪が広がった、家族や先輩との関わりが増えた、不登校の児童が学校に来られるようになったなどの効果があったそうです。

磐田市の事例発表は、人と人とのつながりが大切である旨のお話でした。

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センターからは、長野県泰阜村にある自然体験教育センターに小学生14人と中学生5人が移住して共同生活をしていることや、放課後児童クラブの運営を村から委託されていることの発表がありました。共同生活をしている児童は放課後児童クラブにも登録され、地域の小学校の児童もおよそ60人のうち40人程度が放課後児童クラブに登録があるそうです。この活動により、村が活性化した、地域の価値が上がった、活気が戻ったなどの声があるそうです。

○豊橋市の「のびるん d e スクール」の指導者は登録制であり、住んでいる地域の学校だけでなく、他の地域の学校にも行って同じ内容を指導するそうです。

○「のびるん d e スクール」の参加者からは、受益者負担で1回ごとに使用料を徴収しているそうですが、放課後児童クラブの利用者は無料で参加できるそうです。豊橋市は元々小学校の部活動を実施していた経緯があり、放課後子ども教室と部活動をマッチングさせたような活動で、小学校部活動の地域移行のようなものですね。

9 次回の開催予定

- ・ 定例教育委員会

日時：令和5年8月24日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会